

「2022年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣参加報告書」

京都大学医学部2年 平野由理

今回のメインである韓国語の授業は延世大学の語学堂で平日に1日4コマで行われ、1・2時間目は文法を学び、3時間目はリスニングと読解、4時間目はスピーキングの授業を受けました。私は3級に配属され、そこではオール韓国語で行われました。私は第二外国語が朝鮮語ではなかったため、韓国語のスピーキングが初めてで、最初の授業では、クラスの友達が難しい単語も使って話す姿に圧倒されました。しかし、少人数制のクラスなので先生が一人一人に合わせて授業してくださったので授業を楽しく受講することができました。個人的に相談したいことがある時や、毎日の疑問点、宿題の添削はカカオトークを通じてコミュニケーションをとることができます。カカオトークでクラスのグループも作るため、カカオトークを使えるようにして授業に取り組むと安心だと思います。

国際学部へのセミナー発表はチームに分かれてテーマを決めて準備、発表、そして国際学部の生徒とディスカッションをすることができました。私たちのグループでは、教育や就職について、自分たちが日本の実態を発表し、ディスカッションを通じて様々な生徒の出身国の実態について知り、学びを深めることができました。他にも発表スライドを英語だけではなく韓国語でも準備したり、発表も韓国語で行ったりしたことは貴重な経験です。授業聴講については、1つは、京大の生徒のために準備してくださった韓国の歴史の授業、もう一つは、選択したジェンダーの授業でした。これらはオールイングリッシュで行われ、後者は国際学部の生徒さんと一緒に授業を受けました。国際学部の英語授業聴講では、現地の生徒がネイティブレベルの英語で自分自身の意見を挙げて発言し、議論が深まっていく様子が印象的でした。

今回の留学を通じて自分自身の語学力や将来の進路について多くの刺激を受けました。国際学部の生徒さんはもちろん、語学堂では、様々な国籍の生徒がそれぞれ自分の夢に向かって韓国語を勉強している姿を目の当たりにしました。また、私のクラスでは韓国語を勉強しているうえに、中国語や英語を勉強した経験があったり、流暢に話すことができたりする友達が非常に多かったことも衝撃でした。将来の進路については未だに明確な夢を持つことができていませんが、だからこそ将来の可能性を広げるべく語学力の向上にこれからも務め、この留学を今度は英語圏の留学につなげるべく勉学に励みたいと思います。

最後に、このプログラムに参加できて非常に光栄でした。サポートしてくださった皆様、どうもありがとうございました。

한국의 여러분께

이번 단기유학은 매우 뜻깊은 시간을 보낼 수 있었습니다. 이번 유학을 통해 얻은 교훈을 바탕으로 앞으로도 열심히 공부하고 싶습니다. 감사합니다.

Dear Prof. Kahm

Thank you very much for taking your valuable time to prepare a meaningful class for Kyoto University students. Actually, I was very anxious and nervous before attending the class because it was my first English class in a year, and it was a history class, which I had only learned in junior high school. However, when I took your class, it was very interesting. I had never known about the conscription, comfort women, and colonial issues that I often see in the news, and I feel that it was very meaningful for me as a Japanese citizen to learn about the reasons for the dislike of both Korea and Japan. I used to feel that the idea of mutual dislike was old-fashioned but given that the people who lived through that history are still alive, and the history they are telling is also still alive, I think it is progress to be more in tune with such feelings. However, I still hope that Japan and Korea remain friendly. I will continue to do my best to become a person who can contribute to that end, making use of what I have learned through this Yonsei Spring School.